

本日ここに、多くの皆様のご列席のもと、令和五年度、国立高等専門学校機構鳥羽商船高等専門学校第五十二回「商船学科卒業証書授与式」ならびに第十六回専攻科「海事システム学専攻修了証書授与式」を迎えて、卒業生・修了生諸氏を送り出すことは、教職員また在校生、同窓一同にとって、この上ない喜びです。新しい歴史を共に刻むこととなります。

商船学科を卒業された航海コース**十四名**、機関コース**十四名**のみなさんは、五年六か月の高等教育の課程を修了し、**準学士の称号**を授与されました。基礎学理と教養に加えて専門領域たる海事と船舶運航の技術を身につけた海技者として、打って出ることなりります。

専攻科海事システム学専攻を修了された**四名**におかれては、**大学評価・学位授与機構の定めた条件を満たし学士(商船学)の学位**を授与されました。本科教育の上に高度かつ、より広い領域の専門的学術を修められ、国際的視野を持つ、創造的研究・技術開発の実力をもつ技術者として成長されました。

卒業生・修了生の皆さんの今日に至るまでの不断の研鑽を称えるとともに、今日を迎えた学生各位を物心両面から支えて来られた皆様に、心からお祝いを申し上げます。

さて、卒業生・修了生のみなさん、皆さんは五年六か月にわたり、日々の勉学と鳥羽丸実習、加えて大型練習船による乗船実習と遠洋航海を成し遂げられました。世界は一九一八年のスペイン風邪の流行以来の感染症の感染拡大に見舞われ、皆さんも、先輩諸氏が体験したことのない経験をされました。これだけの試練を突破されてきた皆さんにひとこと、ふたこと話をします。

キャリアとは何でしょうか？自らの能力開発の連鎖、働くことにまつわる生き方、人生そのもの、これからの世の中、個人のキャリア形成は若年層がマイノリティとなるため、難しくなっていくといわれます。職業人生が長期化する中で、環境変化が激しい状況下、学校で鍛えた行動力や地頭、環境適応性がみなさんとみなさんのキャリアを支えます。

社会では、自律的にキャリアを創っていく必要があります。多様な人材と、主体的に関わりながら、創造性の高い働き方をするのが期待される。自ら周囲に能動的に教をこつなどして、仕事の仕方を学んでいってください。

人口減少や少子高齢化が進むことを理解していても、今なお、日本型雇用慣行のパラダイムから脱することができていない企業が多いなか、多様な人材がそれぞれの能力を発揮できる、新しい働き方・働く場をみなさんが創り出す必要があります。

これからの皆さんに必要なこと、他者とのおしゃべりや経験を共にすること、これがみなさんをさらに成長させます。仕事で出会う異業種の方々と積極的に交わること、言い換えると多様性が人を育て、さらには幸せにします。経験を共にしてくれる人は自分を幸せにしてくれます。新たな経験をすると幸福感、充実感が増えます。そして人が幸福感を感じるもうひとつの場面は、他人の幸せを考えるとときです。

今日ここに集まっている卒業生、修了生、ご家族はじめお世話になった方々、教職員の方々、ここまで皆さんを引っ張ってくれた先輩、あとに続く後輩たちとともに約八千名の同窓生のつながり、絆をしっかりと結んでください。卒業生・修了生は、本日をもって**七千九百五十九名**となり、海運・海事産業、情報、機械など、我が国の産業界に技術者を輩出し、多くの産業の発展に活躍しています。

二〇二五年（令和七年）春には、新技術を結集した新しい練習船「鳥羽丸」がスマートシップとして姿を現します。スマートといえば、スマートで、目先が利いて、几帳面、負けじ魂、これぞ船乗りと言われてきました。これらは、いつの時代でも、社会システムのいかなる場面でも必要な心構えです。これからの日本、よろしく願います。

令和五年九月二十二日 独立行政法人国立高等専門学校機構

鳥羽商船高等専門学校長 和泉 充